

# 小学校 第3学年 国語科 学習指導案

埼玉県さいたま市立大谷場小学校  
教諭 望月 さお美

**単元名** 題名について考えたことをつたえよう —— 『わすれられないおくりもの』(9時間)

**単元のねらい** 題名について考えたことをつたえることができる。

**本時のねらい** 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像することができる。(第5時)

**指導時期** 10月

## 指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

第2学年『わにのおじいさんのたからもの』の学習では、「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」「読むこと」(1)エ)を重点的に扱ったが、題名に着目することで場面の様子を具体的に想像したり、話の展開を予想しながら楽しく読んだりする児童の姿も見られた。

本単元では、登場人物の気持ちの変化と場面の移り変わりとを結びつけて物語を読みつつ、題名のもつ役割や意味を考えながら読むことで、さらに物語の魅力やよさを児童たちが見いだす展開を意図している。

あなぐまの「死」を受けて、初めは悲しい思いが強かったもぐらが、あなぐまの思い出を振り返ることであなぐまに対する思いや考えが変化し、題名でもある「わすれられないおくりもの」に気づくといった物語の展開を踏まえ、ある場面におけるもぐらの気持ち(部分)だけに注目するのではなく、物語全体を通した読みを促したい。

児童が物語を具体的に想像しながら読んだり、読みを広げたり深めたりするためには、本文の叙述に戻ることが欠かせない。そこで、「指導者用デジタル教科書(教材)」の「デジタルメモ」を用いることで、学習活動の展開の中でそれぞれの児童がどの場面に注目しているかを把握したり(実態把握)、注目した叙述をもとに児童の考えを整理したり(考えの形成)、新たに短冊を書き加えたりすることで読みの広がりを実感できる(考えの変容)。また、「抜き出す」機能は、児童からの発言を即座に反映することができるため、時間が短縮した分、従来、板書をノートに写すことで精いっぱいであった児童たちも内容に集中して、自分の考えと考えを支える事例・理由探しなどの活動に取り組むことができる。

## 本時(第5時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。</li> </ul>	 <p>The screenshot shows the 'Teacher Edition' interface. On the left is a book cover titled '小学国語 3 忘れられないおくりもの'. On the right, there are several navigation buttons: '最初のページを開く' (Open first page), 'おわる' (End), '目次を開く' (Open table of contents), '本たなへ戻る' (Return to main page), and '前回の続きを開く' (Open previous page). There is also a search bar and a settings icon at the bottom right.</p>



## 指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

「デジタルメモ」の活用は、教科書教材をもとに展開できることはもちろん、操作も容易であり、すぐに使えるコンテンツとして有効である。また、視覚的に教材や整理した情報を提示して児童が考えるための時間を確保することで、学習活動の履歴を踏まえて学びの広がりをつなげるなど、単元全体を通して言語活動の質的な充実につながった。